

ロータリーに輝きを

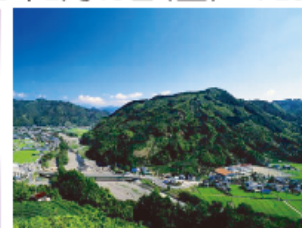
FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB

藤枝南ロータリークラブ会報

例 会：毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
 E-mail: club1991@fujieda-rotary.org

会長：伊藤 彰彦 副会長：内山 淑夫 幹事：渡邊 芳隆 副幹事：竹田 敏和

第1122回



<http://www.fujieda-rotary.org>

- ソング それでこそロータリー・おほる月夜
- ソングリーダー 平原 望君

■ 会長報告

伊藤 彰彦君

皆さんこんにちは。明日はバレンタインデーですが、昨年早川前会長の代理挨拶で取り上げましたので、今回は別のテーマをお話しさせていただきます。



日本人にとって、マグロという魚は大変好まれる魚です。近ごろは乱獲のあおりを受けて天然ものが減少しているため、養殖技術が進んでいます。おかげさまで我々はその恩恵を受けてマグロを食べることができているのですが、そんな中で、ちょっとショッキングな情報がありますので本日取り上げさせていただきました。

最近、生鮮マグロを食べた人が、食後短時間で下痢や嘔吐などの食中毒症状を発症する事例が全国的に広がっているそうです。その原因として疑われるのが、粘膜胞子虫（クドア属）という寄生虫のようなのです。この寄生虫は肉眼ではわからず、顕微鏡を使わなければ発見できないほど小さな寄生虫だそうです。

この、寄生虫が最初に発見されたのは2011年6月に養殖ヒラメから発見され、厚生労働省が新型食中毒として取り扱うようになったのがはじめということです。養殖ヒラメで食中毒患者が2011年6月から同年12月までのわずか6か月間で全国19都道府県492人の患者が出たそうです。

そして今、生鮮マグロによる食中毒の原因物質としてこの粘膜胞子虫が疑われているよう

す。東京都健康安全研究センターが2011年4月から2013年2月の間、マグロ類の粘膜胞子虫の寄生実態調査を行ったところ、都内のスーパーマーケットに流通していたマグロ類を調べたところ、日本産メジマグロの67%、日本産クロマグロの10%から粘膜胞子虫が検出されたということです。

このメジマグロとは、クロマグロの3歳以下の子供を指し、大きさは30キロ未満とマグロとしてはかなり小ぶりの魚ですが、脂の乗りは少ない分安く手に入るという魅力と、上品な甘みでおいしいということで、高齢者からの人気が高い魚のようです。

消費者の我々としての防衛策としては、この寄生虫は冷凍されると毒性を失うようですから、マグロを食べるなら冷凍マグロを食べることをお勧めします。

以上、会長挨拶はこのくらいにさせていただきます。

■ 幹事報告

渡邊 芳隆君

- ・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」が届いております。
- ・熊平製作所より「抜萃のつづり」が届いております。

■ 出席報告

富澤 賢一君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
40/46 86.96%	38/46 82.60%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○川口君 ○玉木君 ○早川君 ○藪崎君
○内山君 佐野裕君

(2)メイクアップ者

中山 恵喜君(静岡東) 梅島 純夫君(静岡東)
漆畑 雄一郎君(静岡東)

■スマイルBOX 富澤 賢一君

・誕生日プレゼントありがとうございます。妻がほしがっていたシャープペンだったので、妻にプレゼントしました。私にはもったいないものです。 望月誠君

・結婚記念のプレゼントありがとうございます。 富澤賢一君

・先週、平成22年2月19日に46歳で亡くなった南ロータリークラブ会員 青木勉さんのお墓参りにJCの仲間と行ってきました。そして、今週はロータリーの仲間で、青木さんとよく行ったスナックに行き、青木さんが好きだった歌をうたってきました。あれから気が付けば、後輩だった私が、今、青木さんより歳上になっています。まだまだ青木さんの分まで、元気に生きてこうと思います…

桑原茂君

スマイル累計額 380,150円

■会員卓話

池谷 和正君



皆さんこんにちは。本日の卓話は今回行われた焼津市議会議員選挙についてお話させていただきます。

新聞等でご存じの方もいらっしゃると思いますが、今回の焼津市議会議員選挙では投票率が49%と過去最低となりました。全国的に見ても選挙の投票率がなかなか上がらないとニュースなどでも取り上げられています。この先、全国地方自治体が存続の危機状態になるのでは？と

言われている中、私達若手地方議員も選挙を通じて感じるのは若者だけではなく年配者の方々も政治離れが進んでいるように思います。まちを上げて改革を！と何十年に一度の市民が期待を込めた選挙では投票率は上がりますが、ある意味安定期の様な地味で穏やかな選挙では、盛り上がり欠けてしまう。今後、国では18歳から投票をとった動きがある中、怖くも思うが、逆に私はチャンスではないかと考えています。

本気な大人が全力でまちの将来を考えて思いを言葉にして訴えている姿をこれからの若者に見せていかなければ熱が伝わりませんし、便利や楽を求めているだけでは人は成長しないので、あえて弱点に目を向けて戦い方を変えながらも強く戦う政治家もこれからは必要だと思います。

藤枝市も焼津市も共にまちづくりに市民が真剣に取り組める環境づくりも合わせて必要になってくると私は思います。とにかく目の前にある課題も大切ですが、この先の地域全体を見ていく目も心も大事。

私達の住むこの地域は必ずまだまだ伸びるまちであることを真剣に考え、言葉にして訴え続けていくことも大切な取組であると思っています。以上ありがとうございました。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
2/20(金) 第1123回	国際奉仕小委員会 担当	
2/27(金) 第1124回	会員卓話⑭	
3/6(金) 第1125回	社会奉仕小委員会 担当	
3/13(金) 第1126回	会員卓話⑯	

(担当/漆畑君)